



2012年 第111回 春季 広州交易会

中国最大規模の輸出商品商談会



第一目的地到着、ギフト攻略（上）
伊東さん商談開始！（右）

展示会場入口。出発します！！（右）



4月23-27日にかけて、弊社の伊東、吉岡、小原3名が「広州交易会」へ視察に行き参りました。広州交易会正式名称は「中国輸出商品交易会」ですが、広東省・広州氏で開催されることから、日本では「広州交易会」中国では「広交会」と呼ばれることが多く、主催は中国商務部、中国全土から選ばれた企業が参加する中国最大の総合輸出商品商談会です。さっそく、現地での様子をお届けいたします。

昨年弊社からも出品し、入賞を果たした「塩ビものづくりコンテスト」が今年も開催され、塩ビものづくりコンテストという極めて活用されることも期待されています。デァも前回に引き続き出品はします。私ナルといふ商品の要素は、新しアイます。オリも前回は、アイは全くなす。オリも前回は、アイは全くなす。オリも前回は、アイは全くなす。...

塩ビものづくりコンテスト、今年も開催です。

社長 森直樹



「インターネットとモバイルキャリアと私」

東京オフィス 大石 耕平



情報の価値が、ここ10数年で爆発的に上がったって言う人もいるしここ10数年で価値が下がりました。と言う人もいます。正直そんなもん比較できるわけないでしょ？って思う。

しかし情報の量は比較できる。2008年時点で、1998年と比較して58倍の情報量が世の中には流れている。現在2012年。個人的に考えてここ4年で更に増えていると思う。私の弱い頭で推定したら2008年の98倍になった。(暇な方、フェルミ推定してみよう！絶対答えは一緒にならないけど)まあとんでもなく爆発的に増えているはず。

- ・4年前と比べてスマートフォンが増加
- ・ネットへの発信者としての参加人口の増加
- ・ここ4年のネットトラフィックの増加

定義する情報は違いうしろ2012年の時点で、14年前の(303080)に19400倍の情報量となります。∴50万倍って。計算あつてるか心配になるレベル。情報量・質の話はいったんこままで。

さて本題インターネットの話。その14年間で、人それぞれ、インターネットと色んな接し方をしてきたと思います。

14歳。中学2年生。我が家にインターネットはありませんでした。

15歳。我が家にはじめてパソコンとインターネットが登場します。当時の携帯電話はキャリアをまたげないSMS。iPhone-Talk間ではできましたが、キャリアが違つとメールができない。auの子 Goocomoの子はメールできませんでした。着信音はスカイメロディに電話して選ぶと、SMSで送られてきたもんです。単音か4和音。ピッチ (PIS) も流行った。それにしても当時のwindoowsは本当に遅くて・・・。

16歳。革命が起こる。MSNがついたんです。メールアドレスも付与されました。これでキャリアを超えてメールが可能に。写真が撮れるようになったのもこの頃。そして携帯サイトなんてのがどんどん進化してきました。そして着信音は夢の16和音へ。

17歳。またまた革命が次々と起こりすぎて覚えてない。着信音は夢のまた夢64和音へ。携帯の液晶がでかくなつてつたのもこの頃。この辺記憶があいまいで順番とか違つても構わない。この頃、着信音をマイナーなサイトでみつけたやつを自慢するのがイケてる学生の行動だったわけです。ちよつと音楽とパソコンできるとついたりとかね。

18歳。この頃になると出会い系サイトが大爆発。みんなが必死になつてやつていた。確かスタービーチだったかな？またあるのだらうか？そして振り返つてみたら初めてBlogとかやつてみたのが2003年頃から。あれはredoor Blogだったはず。(堀江貴文社長も懐かし・・・) 今まで根気よく続けられていたらもうすぐ10年でした。おめでとうございませう。あの頃、私が情報を発信してる人たちは常に友達。知らない人に見てもらいたくつてインターネットを使おうなんて事はあまりなかった。

20歳。MSNに切り替え。煩わしかった作業が一気に減る。そしてみんなが誰でも情報が発信できるようになりました。実名・非実名・仮名の入り乱れるMSN。mixi(MS)では友人に情報(なんてたいそれたものじゃないけど)を発信しMSN中毒に陥りました。ああ楽しかった。

そして自分を含め年頃の友人たちは社会人になり、MSNやつてる暇なんてなくなる。ネットがあるのにみんなと昔より疎遠になりました。そしてTwitterはじめたりして、時代がなんかweb2.0とか言い始めて、相互発信だ、やれなんとかだとかつて話になつて当時mixiやその前からつながりのある子たちとまたインターネットで、もつというTwitterで再会したりする時代に。

24歳。Facebookとか言う大人っぽい便利なSNSが海の向こうからやつてきた。有無を言わず早速ハマる。オモシロイ。

25歳。ここにiPhoneを我が手に。これが今までのストレスを振り払うような斬新な携帯電話。色々とカスタマイズしていった挙句自爆。データを失う。

26歳。Facebookがマスコミとかの煽りもあつて、日本でも大爆発。もちろん世界中でも大爆発。マスコミ様が、時代はFacebookだ！Twitterだ！と煽る。それに乗つかるITコンサルタンツ。

27歳。第2新卒って、社会復帰。ついに PhotoshopのIllustratorを学ぶ。

使いこなす！なんて言えるのはまだまだ先になりそうだけれども、性に合つているせいか長続きしそうな予感。でもセンスが無いのが痛い・・・。

「はんだ山車まつり」

森松産業 岩間 正美



私が住む半田の本格的な春は山車祭りとともに訪れます。

3月下旬から5月3日・4日にかけて、市内10地区で山車祭りが行われ、総勢31台の山車が続々と登場。

立川和四郎、彫常などの名工の手になる精緻な彫刻や金・銀刺繍幕におおわれた豪華な山車が勇壮に曳きまわされます。

からくり人形、獅子舞、三番叟など見所は多く、観客を魅了します。

5年に1度その総勢31台の山車が一堂に会す、半田市あげて行われる勇壮な祭りイベント「第7回はんだ山車まつり」が、今年の10月6日(土)、7日(日)に開催されます。

豪華な彫刻や幕などに装飾された総数31台もの山車が、勇壮な曳き廻しの後、一堂に会す様子はまさに圧巻で、見るものを魅了します。

また、半田市あげて行われる行事なので、名鉄知多半田駅から31台の山車が集まる市役所駐車場までのいたるところでイベントが行われ、屋台も沢山並びます。

私の実家は31台の山車が集まる会場のすぐ近くのため、毎回31台の山車が並んでいる姿を見に行つていきます。もちろん今年も見に行く予定です。

皆さんもぜひ「はんだ山車まつり」にお越しください。



31台の山車が集結したところ



亀崎地区の山車の海浜への曳き下ろし

あの頃の森松

企画営業部 安井 浩二



入社当時、最初に与えられた仕事？は、お茶くみでした。朝一で出勤し、お湯を沸かし、出社される先輩方々に「おはようございます」とお茶を配っていましたね。実務では、デスクマットのプレス作業。抜き作業じゃなくオートで生地を送るプレス機でなかったの、2本をかけた原反を合わせながら人力で引つ張る役割で、とても地味な作業でした。その頃は、需要期で毎晩の残業。今みたいに週休二日でもなく日曜出勤も当たり前でした。(きつかった)その後、営業になり、先輩(杉本さん)と同行。あの頃は、毎日のように飛び込み営業をさせられました。(もう、イヤでイヤで...)まあ、そのおかげで、三重地区の開拓から関西地区、異業種(静電気関連)など今では新規開拓は得意になりましたけど...。また、営業マンになりたての頃は、仕入先も少なかったですね。お客様から注文を頂いても手に入らない商品もあり、残念な思いもしたこともありました。しかし、第一回の森松展を開催した時、ずらりと並んだブースにこんなにも仕入先が増えたんだと感じたものです。その展示会も今年で20年を迎え、仕入先も増え大きく変わりました。その分、取扱商品も変わり、当時は原反販売が主でしたが、今では殆どが加工品ですから材料、加工知識がないと作ることもできなければ、売ることもできません。営業マンでありながらメーカーみたいな立場になっていきますね。さらに作業環境で、大きくかわったのはパソコンの導入でしょう受発注の手配、日報などの日常業務はすべて手書きでした。あの頃は、皆「ペンダコ」ができていました。また、社内行事も数多くありますが、やはり「樫大社の禊」と「船釣り」でしょう。これを経験すれば一人前？儀式みたいなものですね。是非、あすなる会の若手にも経験して欲しいです。仕事初めの「書初め」や大型連休の「読後感」は継続していますが、まるで学校みたい？そう、「森松大学」なんて言われることもあります。振り返れば色んな経験をさせていたいただいて学ばせて頂きました。この先も社内外とも皆様に学校では教えてもらえない知識・経験を学ばせて頂きたいと思えます。



「人生100年時代」

特販部 志水 満



年々延びる日本人平均寿命100歳を越える人は昨年4万7000人を突破し2050年には70万人に達するとの予測もあります。人生「100年時代」も夢ではなくなってきましたが、その一方で増え続けているのが認知症やがん、寝たきりなど健康長寿を妨げる病気。こうした病気を予防しいつまでも元気で健やかに過ごしたいと思うのは多くの人の共通した、願いでもあります。かつて「人生50年」言われた時代もありましたが、それも今となっては遙か遠い昔の話。本来長生きすることは喜ばしいことなのですが、なぜか高齢社会をよくない困った社会のように考えたり長寿自体を望まない人も少なくないようです。ある生命保険会社が25歳から65歳までの男女約800人「長生きしたいか」と尋ねたところ約4人に1人が長生きはしたくないと答えたという記事が新聞に載っていました。その理由も「お金」や「病気・入院」への不安が背景にあるようです。今の高齢者は昔と比べても若く、若い頃に比べれば多少意思決定が遅くなることはあるかも知りませんが、長年築き上げた経験から間違いない判断をされる方が多いように思えます。「老い」は誰も避けて通ることができません。であるならば最期は、がんや認知症、寝たきりにならず、元気で自立した生活を送りたいものです。



5月の予定

4月28日(土) ～ 5月6日(日) 9日間
連休実施日

2日(水) 大和田夕美さん誕生日

11日(金) 松井えり子さん誕生日

12日(土) 第2土曜日出勤日

18日(金) 西垣浩司さん誕生日

19日(土) 第3土曜日出勤日

22日(火) 藤木彩さん誕生日

23日(水) 阿部かおるさん誕生日

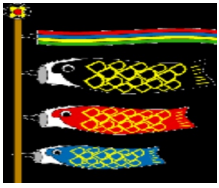
25日(金) 生産会議 12時～13時

CS向上会議 14時10分～15時

26日(土) 第4土曜休み

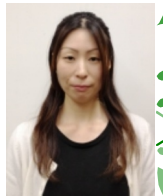
26日～27日 慰安旅行(加賀屋)

27日(日) 伊藤雅典さん誕生日



趣味やオフ

営業部 小坂 美香



この時季といえば、やっぱりお花見ですね。通勤時にある公園の横を通るのですが、まだかな？まだかな？と桜のつぼみが少しずつ開いていくのを見るのが毎朝楽しみでした。先日、その公園へお花見に行ってきました。今年は例年に比べて、桜の開花が遅れていたようですが、ちょうどいい感じに咲いていて綺麗でした。(4月8日の時点で)夜になると期間限定でライトアップされ、昼間とはまた違った雰囲気になります。バーベキューをしたり、カラオケをしたり、酔っぱらってしまったのか寝ていたり、いろいろな楽しみ方・色々な人がいるんだなと思いつつ、周りを見てみると面白かったです。以前ラジオで、お花見の話題をしていました。その時に、「桜を見ている人なんてほとんどいない。お酒を飲む為の口実で、花見と言う名の単なる飲み会だよ」と言っていたのを思い出しました。改めて周りを見ると、確かにただの飲み会に見えますが、楽しければいいのだと思います。私のお花見の楽しみは屋台です。お祭りやイベントがある時は、いつも屋台が楽しみで出かけて行きます。ちゃんとしたお店で食べた方が絶対に美味しいのと思う物でも、なぜか買ってしまいます。多分、あの雰囲気の中で食べるから美味しく感じるのかもしれない。きつと、お酒を飲んでいる人達も同じなのかなと思いつつ、雰囲気も大事だなと感じました。



森松株式会社 社内報

No: 323号

平成24年4月27日発行

森松HP

<http://www.morimatsu.net/>

オーダーマットのご注文はモーリンモールで!

<http://morlinmall.jp/index.html>

編集者

大石 耕平 松井 宣和

伊東 義弥 小坂 美香

小原 龍一 伊藤 雅典

創刊号: 1985年7月



編集後記

今年はいきなり春が訪れたと思ったら、あっという間に桜が散ってしまい非常に残念な思いをしました。

しかし、これからは新緑の季節!外に出て新たな発見をしていきたいですね。

編集長

